

第235回 地域連携運営委員会議事録

日時 令和7年9月11日（木） 午後6時30分 大会議室

会議 参加16名、 不参加4名

議題1 連携の仕組みづくり ー連携の課題と解決に向けてー

コロナ感染者多数により延期となった会が下記の通りの日程で開催。

令和7年9月5日（金）午後7時～ 下越病院2階講堂

参加者47名、開業医師12名と病院医師14名

五十嵐謙一先生に進行していただき、病院の実情について下越病院と

新津医療センター病院の実情について報告した。

開業の若手医師も参加。病院の困っていること、求めたいこと、会わないと分からないことなどについて理解を深めた。

今後は開業医の実情について話してもらい双方のやり取りを深めていきたい。

議題2 第20回新津地域医療福祉連携協議会の開催

開催時期：10月4日（土）午後2時～午後5時

開催場所：新津交流センター

懇親会の設定 新津駅前、柗形屋を予約

テーマについては前回決めたところだが、ワールドカフェの前に話題提供の時間を設ける事にした。

五十嵐先生から、これまで経験した中で多職種が関わり上手くいった事例を紹介頂く。

その他、地域包括センターから困難事例として上手くいかなかった事例を紹介頂くこととする。講師は包括新津、またはにいつ日宝町にあたる。

意思決定支援の中でどんなところが話題となるか・・・

- ・本人は自宅で最期と考えていても、どう変化していくのか。
- ・独り暮らしや協力しない家族
- ・認知症が無ければある程度覚悟・・・周囲の協力・・・医療だけでは無理
- ・私たちに何が出来るのか・・・家族がいなくても暮らせるのか

具体的に流れについては大まかに別紙のとおりとする。

懇親会の進行なども協力を頂きたい。

議題3 新潟市・新津地域におけるIT連携

スワンネットの現状と未来 事務局説明

- ・新潟市のスワンネットの現況について新潟市医師会より別紙資料を見繕ってもらい提供してもらった。

直近に行なわれたスワンノート説明会に参加させて頂き、初期の頃と比べて遙かに進化していることがわかった。特にノートでは利用者本人も家族も入れた連携が可能で、手帳に近い形での運用も可能となる。

資料のとおり新潟市内の中でも中央区や西区、東区では運用が進んできている。秋葉区や南区はやや遅れている。

スワン救急などオプションも立ち上がりつつあり、IT化に向けた動きはますます進行するものと考えられる。

秋葉区では、下越クリニックの兒玉先生、千手先生が中心となり現実的に訪問看護やケアマネを巻き込んだ取り組みが始まってきている。

やはり、利用業者が増えないと連携メリットも少ないので拡大できるように連携運営委員会としても進める時期ではないかと感じている。

委員長

まずは現状と課題を理解する必要がある。連携委員会の中で反対がなければ推進する方向で行くことでどうか。

一同異議無し

以上